

ワークショップ 1

教・職・学で考える大学の学び

概要：FD や SD についての研修やそれに基づく授業、業務の改善が各大学で行われている。しかしながら、これらの取り組みがどれほど学生の活動に効果を与え、大学での学びを促進しているのだろうか。本ワークショップでは、教職員による授業・業務改善や学生支援といった取り組みについて、学生の学びという視点で見つめ直し、その効果と課題について学生、職員、教員で議論する。本ワークショップは前半の事例紹介と後半のグループワークで構成される。前半の事例紹介では、各大学での FD・SD の取り組みや、教学マネジメント、IR、学生支援について 4 名の講師より情報提供いただく。後半のグループワークでは、これら教職員の取り組みに対する学生のフィードバックやコメントをもとに、参加者全員で議論を深めていく。

*本ワークショップでは、教職員だけでなく学生の参加を歓迎する。

<プログラム>

10：00 趣旨説明

京都橘大学 経営学部 専任講師 多田 泰紘 氏

京都外国語大学 共通教育機構 講師 根岸 千悠 氏

10：10 講演 1. 「FD・SD の動向と実際：よりよい学生の学びにつなげるために」

近畿大学 IR・教育支援センター 准教授 竹中 喜一 氏

10：25 講演 2. 「ピアサポート組織を立ち上げるために教職員は役に立つのか：

宇大ラーニングサポーターを事例として学生とともに考える」

宇都宮大学 大学教育推進機構 基盤教育センター 准教授 石井 和也 氏

10：40 講演 3 「Student Success を中心に据えた学生支援とは」

立命館大学 学生部 SSP 学生支援コーディネーター 岸岡 奈津子 氏

10：55 講演 4 「FD・SD の有機的連関を目指して～教職学協働で取り組む教育改善～」

成城大学 教育イノベーションセンター 主任 肥田 奈緒子 氏

11：10 休憩

11：20 グループワーク